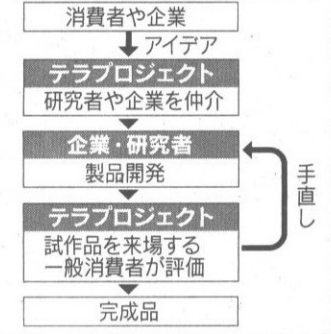


消費者の発想借り商品化

阪大教授ら梅田に参加型施設

大阪大学の教授らが高度な知識、技術を持つ専門家集団を発足、消費者の発想を初期段階から取り込み産学で製品開発を進める事業に乗り出した。大阪市内に2月、企業の技術や試作品を集めた体験施設を開設。アサヒビールのほか、中堅・中小規模の企業・団体が入居する。消費者ニーズに専門家が「オープンイノベーション」といわれる試み。消費者の目線から売れる製品づくりになる。

テラプロジェクトの概念図



テラプロジェクトに参加する主な企業

企業名	主な目的
アサヒビール	適正飲酒量に対応した新製品開発
フジキン (大阪市)	独自の炭化技術を活用した製品開発
竹中庭園緑化 (大阪府東大阪市)	オリジナルの樹木や花の開発
トーケン (石川県小松市)	屋上緑化関連の新製品開発
ネオプロジェクト (岡山県美作市)	香りを切り口にした製品・サービスの開発
大原学園 (東京・千代田)	少子高齢化に対応した新たな資格講座の開発

フジキン 炭化綿活用探る アサヒビール 適正酒量を把握

一般社団法人テラプロジェクト(大阪市、理事長 小林昭雄・阪大名誉教授)が事業を主導する。阪大を中心とする工学系の研究者約10人が当初のメンバー。今後さらに幅広い分野から参加者を募る。

大阪・梅田の大阪富国生命ビル4階に「テラプロジェクト」の名称で施設を開設する。8つの企業・団体が入居しショー

ルームや工房を設置。入居は数年契約で、順次入れ替わる見通し。

テラプロジェクトは消費者の関心が高い「食」「植」「健康」の3つをキーワードに製品開発を支援する。事業化が見込める企画家はテラプロジェクトに参画する研究者の

人脈を通じて、全国の大学や研究機関から最適と思われる専門家や企業を仲介する。

商品化や事業化の間で売上げなどに応じたアイデア使用料の契約を結び、起業を目指す場合には、事務局がサンプル探しも請け負

る。参加企業で美容関連製品を開発するネオプロジェクト(岡山県美作市)は疲れを回復する香りの開発や個人と企業の間で売り上げなどに応じたアイデア使用料の契約を結び、起業を目指す場合には、事務局がサンプル探しも請け負

研究開発で外部の知恵を活用する「オープンイノベーション」が世界に広がっている。新興市場の成長や高齢化に対応して商品開発の速度を上げるには、自前主義の転換が不可欠だからだ。こうした環境の変化は大企業だけでなく中小企業にもチャンスをもたらす。

この手法で最も有名なプロクター・アンド・ギャンブル(P&G)は取

なげた。同様の手法は日

本でも広がりつつあり、企業などが持つ埋もれた技術が日の目を浴びる可能性が高まっている。

外部の知恵や技術を生み出すチャンスは膨らむ。関西には高度な技術の蓄積がある。様々なプレイヤーが連携できる環境が整えば、閉塞感が漂う関西経済を立て直す起爆剤になるだろう。

外部の知恵 活用広がる 中小にもチャンス

研究開発で外部の知恵を活用する「オープンイノベーション」が世界に広がっている。新興市場の成長や高齢化に対応して商品開発の速度を上げるには、自前主義の転換が不可欠だからだ。こうした環境の変化は大企業だけでなく中小企業にもチャンスをもたらす。

この手法で最も有名なプロクター・アンド・ギャンブル(P&G)は取

なげた。同様の手法は日

本でも広がりつつあり、企業などが持つ埋もれた技術が日の目を浴びる可能性が高まっている。

外部の知恵や技術を生み出すチャンスは膨らむ。

関西には高度な技術の蓄積がある。様々なプレイヤーが連携できる環境が整えば、閉塞感が漂う関西経済を立て直す起爆剤になるだろう。

(編集委員 青木慎一)